

ゆうあい



題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下

共に生きる

2025. 7. 31 No.61

社会福祉法人 友愛十字会



『 花手水 』

主 な 記 事

- 就任挨拶 友愛園 園長 早田 政治
..... 港区立児童発達支援センター センター長 小関 英利
..... 港区立児童発達支援センター 施設長 牛山 華絵
- 快適な事務所で心機一転 砧介護保険サービス
- 男性向け栄養講座を開催して 砧あんしんすこやかセンター
- ご挨拶 港区立障害保健福祉センター 発達障害者支援室
- 東京2025デフリンピックを応援しよう！
..... 港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター
- 友愛青空マルシェ 地域連携委員会

就任のご挨拶

友愛園
園長 早田 政治



令和7年4月より、友愛園園長に就任いたしました早田と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、これまで当法人で高齢福祉に携わり高齢者の生活介護にかかわって参りました。初めに入職したのは町田にある特別養護老人ホーム友愛荘です。ここでは、介護のイロハを教わり、ご利用者のご家族とかかわり方などサービスの基本について学びました。その後、世田谷の養護老人ホームである友愛ホームに移り生活支援や相談業務の経験を積むことができました。また、世田谷施設では高齢施設のほか法人本部や障害福祉事業所が併設されており

様々な職種の職員と出会い、多くを学ぶ機会に恵まれました。

さて、この度、障害者入所支援事業及び生活介護事業を行う友愛園の園長を拝命し、改めて大きな責任を感じるとともに身の引き締まる思いです。4月の就任からこれまで、周りの職員の皆様に助けていただきながら業務に取り組んでいます。

入所定員40名、障害支援区分の平均値は5に到達し年々介護状態は重度化が進行しています。入所するご利用者には、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい生活を営むことができるよう職員と共に支援していきたいと存じます。

最後に、福祉業界全体の課題でもあります人材の確保は大きな課題です。友愛園では、近年、他業種から「新たにチャレンジしたい」「福祉の職場で働きたい」という職員の採用が増えていきます。そのような職員が継続して働ける職場にすることも責務だと考えております。ご利用者の皆様、諸先輩方には、変わらぬご理解とご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

港区立児童発達支援センター
センター長 小関 英利



令和7年4月1日付で、港区立児童発達支援センターのセンター長を拝命いたしました。

私は、港区立障害保健福祉センターの2階に『こども療育パオ』があった頃に、2年半ほど勤務をさせていただきましたが、現在の『港区立児童発達支援センター』(以下、『児童センター』という)は、その名称は引き継がれておりますが、児童発達支援事業の規模もさることながら、児童センターとして港区の児童発達支援の中核的役割を果たす事業所として大きく成長しており、非常に重要な役割を担っていると感じています。

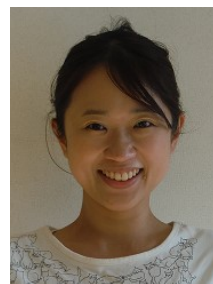
港区の児童センターとして、こどもが身近な地域で、育ち・暮らすことができる体制を整備すること、こ

どもと家族をまんなか(中心)に据えて、地域の関係者・関係機関が連携して、「切れ目なく」、「漏れなく」、必要な支援が行われる地域づくりを進めること、個々のニーズに応じた質の高い支援を提供する体制を整備することに加えて、こども施策全体の中での支援を進めインクルージョン(社会的包摂)を推進することを目的に、求められる4つの中核機能として、①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能、②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能、③地域のインクルージョン推進の中核機能、④地域の発達支援に関する入口としての相談機能について、お子さんやご家族への直接支援に加え、地域の支援ニーズや地域資源の状況等も踏まえて、中核的な役割を発揮することを目指されています。

職員一同、専門性とチームワークを大切にしながら、こどもたちの可能性を引き出し、健やかな成長を支える支援を提供し、地域の皆さまや関係機関のご協力のもと、この中核機能の役割がしっかりと果たせるように努めてまいります。どうぞ変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

就任のご挨拶

港区立児童発達支援センター
総合相談施設長 牛山 華絵



このたび、港区立児童発達支援センターはおの総合相談施設長に就任いたしました、牛山華絵と申します。ぱおには現在3名の施設長がおり、それぞれ異なる部署を管轄しています。わたしが担当している総合相談は、ぱおの“入り口”と言える部署で、大きく分けて3つの部門があります。

1つめは「相談」です。ぱおに初めてご相談を寄せてこられた方に対し、お困りごとや相談したいことなどを丁寧にお聞きし、必要なアセスメントを行った上で、児童発達支援事業などの他事業や、ぱお以外の機関など、適切な支援につないでいきます。お子さんや保護者がこれから支援を受けていく上での、まさに入り口となります。

す。

2つめは「早期発達支援」です。0～2歳児のお子さんについて、日常生活習慣や遊びを通して、良好な親子関係を築きながら、そのお子さんのペースで発達していくような支援します。お子さんの人生の一番最初の時期に関わるという意味で、相談や支援の入り口となります。

3つめは「地域支援・広報」です。幼稚園や保育園、地域の事業所等と連携し、研修を行ったり、情報共有を行ったりします。地域とぱおをつなぐ、入り口の役割を担っています。

ぱおでは年間におよそ650件の新規相談を受け付けています。わたし自身、心理士として様々な親子にお会いしてきましたが、本当にひとりひとり異なる人生の中にあるなあと感じます。育児や発達支援への考え方、地域資源など、変化する社会情勢にも気を留めながら、「ぱおに来てよかった!」と思ってもらえるように日々昇進していきたいと思っています。

快適な事務所で心機一転

砧介護保険サービス

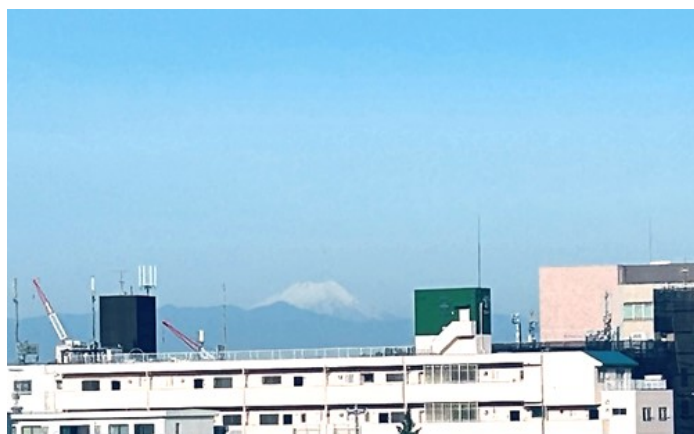
私たち「砧介護保険サービス」は、地域の高齢者や障がい者の皆さま、そのご家族の皆さまの暮らしが少しでも安心して過ごせるよう願いながら、居宅介護支援を行っております。

令和7年4月より、皆さまを温かく居心地の良い場所でお迎えできるよう、新しい事務所へと移転いたしました。従来の1階から5階へと場所を移し、より広く明るい空間になりました。晴れた日には富士山の美しい姿を望むことができ、心がほっと和らぐひとときをお過ごしいただけます。

また、皆さまへより質の高い支援ができるよう、「特定事業所加算」を取得いたしました。今後更なるきめ細やかなケアとサポートを心がけ、皆さまの安心した暮らしとなるよう努めていきます。

私たちは現在、施設長、ケアマネジャー3名、事務担当1名の計5名

で協力しながら、皆さま一人ひとりの気持ちに寄り添ったケアプランを丁寧作成し、ご相談にのることを心がけております。ご利用者様やご家族様の状況や気持ちに寄り添いながら、いつも笑顔で過ごせるよう、私たちは全力でお手伝いしたいと思っています。



↑ 事務所から見える富士山です

男性向け栄養講座を開催して 砦あんしんすこやかセンター

宇野 くるみ

世田谷区の委託事業である砦地域包括支援（あんしんすこやか）センターでは、受託事業所として実施が定められている事業に「いきいき講座」があります。介護予防や権利擁護に関することなど、担当している砦地区の課題からテーマを考え、講座の企画・運営を行います。

昨今、全国的に高齢男性が退職後自宅に引きこもりがちになり、社会参加の機会が少ないことが問題視されています。砦地区でも、高齢男性の居場所づくりは度々課題として取り上げられています。そのため今回、令和6年10月30日に友愛十字会本館第一多目的室にて、「いきいき講座 男性向け栄養講座」今日からできる簡単ちよい足し調理」を開催しました。男性向けとすることで、女性の参加が多い講座では気後れして

しまう男性でも、参加しやすくなるのではと考えました。開催に当たって、法人高齢給食担当の管理栄養士2名の協力を得て、講話・調理実習を実施しました。当日は参加者6名と少人数での開催となりましたが、ひとりひとりに目を配りながら、怪我無く安全に講座を開催できました。作るメニューごとにチームに分かれ調理実習を行いました。普段は調理をしないという方も、細かい作業を黙々と行い時間内に用意した献立のすべてを作り終えることができました。献立は、一人暮らしの方や、慣れないながらも家事をする男性でも作りやすく、簡単に栄養素を補える材料を使ったメニューで、簡単カレー、野菜入り親子丼、あら汁風具沢山味噌汁などを考えました。家に帰ったあとも実践しやすいように、レシピを持ち帰ることのできるようレジュメにして配付しました。講座の最後に全員で作ったものを食べながらお話を伺いました。「どのメニューもとてもおいしく出来た。」「この食材

でこの調理法は初めてだったがおいしくて驚いた。」などの感想をお聴きしました。

日頃の相談業務から地区課題を見つけ、そこへアプローチする方法を考え実践しても、なかなか解決は難しいものと感じています。今回のいきいき講座のような企画をきっかけに、地域の皆様が安定した体調で楽しみを持ちながら元気に生活できるよう、引き続きコツと支援をしていきたいと思っています。



ご挨拶

港区立障害保健福祉センター
発達障害者支援室

部長 服部 幸也香

はじめまして！発達障害者支援室です。この度、特定非営利活動法人ネスト・ジャパンから社会福祉法人友愛十字会の所属となりました。よろしく願います。

発達障害者支援室は、白金高輪から、令和二年一二月に港区立障害保健福祉センター三階に移転してきました。港区にお住まいの八歳以上の方を対象とした、発達障害に関する相談ができる場として開室し、今年で五年目を迎えました。この節目となる年に、児童から高齢、障害と幅広い福祉事業を行う友愛十字会の一員となれましたことを嬉しく思います。

発達障害者支援室は、四つの事業を担っており、

- ①個別相談
 - ②居場所支援
 - ③関係機関との連携
 - ④研修・普及活動
- となっています。
以下、少し様子をお伝えします！

個別相談（予約制）

発達障害の特性によって生じる、学校や職場、家庭などでの困りごとについて、ご本人の意思を尊重しながらお話を伺います。必要に応じて、関係機関や医療機関等をご紹介します。ご家族の相談にも応じます。



居場所支援

【ぶらねす：ご本人支援】

18歳以上のご本人を対象に、地域で安心して自分らしく過ごせる居場所を提供しています。

【ふぁみねす：ご家族支援】

周囲に理解されづらいご家族の思いを共有・発散できる場です。



←ふぁみねす
ミニ勉強会の様子

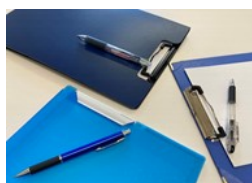
ぶらねすの様子↑



発達障害者支援室は、心理士・ソーシャルワーカーを中心に個別相談、居場所支援、関係機関連携等を行っています。また、毎年、「発達障害啓発週間」に、講師をお招きして講演会を行い、普及活

関係機関連携

ご本人の希望に応じて、学校や職場、関係機関において、より良い支援を受けられるように、情報の共有を行います。



動にも力を入れています。
引き続き、社会福祉法人友愛十字会の理念のもと、港区の発達支援の充実に向けて、従事して参りたいと思います。
よろしくお願いいたします！

研修・普及

講演会等を通じて、発達障害に関する正しい知識や理解の普及啓発に取り組みます。





今年11月、東京2025デフリンピックが開催されます。デフリンピックは、きこえない・きこえにくい人のためのオリンピックです。1924年に

「東京2025デフリンピックを応援しよう！デフリンピック日本代表内定選手の講演を行いました」

港区立障害保健福祉センター
地域活動支援センター



第1回大会がパリで開催され、今年で100周年になります。日本で開催されるのは初めてです。当法人は、東京2025デフリンピックを協賛しています。

この記念すべき大会を応援しようと、港区立障害保健福祉センターの「障害児・者を支援している人への研修」の講師として、二人の日本代表内定選手をお招きしました。マウンテンバイク クロスカントリーの箭内 秀平選手と、デ

フ卓球の亀澤 史憲選手です。講義にあたっては、手話通訳と要約筆記の方々にご協力をいただきました。前半にお二人の生い立ちや競技を始めたきっかけ、デフリンピック競技としての自転車や卓球についてお話いただき、後半は会場からの質問に答えながらのトークショーでした。ユーモアを交えながら、競技の魅力やみんなが応援しよう!!

令和7年度 障害児・者を支援している人への研修 第2回

東京2025デフリンピック開催！ 選手が語る“大会の見どころ”

参加無料
定員60名
(申込順)

日時 令和7年 7月24日(木) 午後4時30分～6時

会場 港区立障害保健福祉センター(東京都港区芝1-8-23)

内容 今年11月開催に迫った、東京2025デフリンピック。日本代表の選手お二人から、これまでの取り組みや大会の見どころをお話いただきます。対談もあります。聴覚障害を持つ選手たちを支えるコミュニケーション方法、最新のコミュニケーションツールにも注目しながら、日本初の記念すべき大会を楽しみましょう！

講師 東京2025デフリンピック日本代表内定 選手
 **箭内 秀平氏** (自転車競技-MTB-)
 **亀澤 史憲氏** (卓球競技)

対象 仕事、家族、ボランティア等で障害児・者の支援に携わっている人、またはテーマに関心のある区内在住・在勤・在学者

申込み 電話、FAXまたはメールで研修名・氏名・連絡先・所属を下記申込み先までお申し込みください

備考 ●手話通訳者あり
●研修参加にあたり、自宅での介護または会場での一時保育(先着2名)が必要な方は、7月14日(月)正午までに港区立障害保健福祉センターへご相談ください

【交通機関】
 電車 JR浜松町駅 南口改札 徒歩10分
 浅草線・大江戸線 大門駅 A1出口 徒歩10分
 三田線 定公園駅 A1出口 徒歩10分
 バス 都バス(都06)金杉橋バス停 徒歩5分
 港区コミュニティバス(ちいばす) 港区コミュニティバス(ちいばす) 定ルート 金杉橋バス停 徒歩3分

申込み・問合せ先 港区立障害保健福祉センター 研修担当(中村・保科)
 TEL: 03-5439-2511 FAX: 03-5439-2514 メール: minato-chi@yuai.or.jp

友愛青空マルシェについて

～マルシェへの思い～

地域連携委員会

◆あゆみ

第1回目の友愛青空マルシェは、令和4年11月に開催しました。コロナ渦において法人の三大行事（盆踊り大会、友愛ふれあい祭り、合同運動会）が実施できない中、それに代わるイベントとして、もう少し小規模で地域の方々とのつながりを持つことができ、相互理解・相互支援につながる場づくりを目的として開始しました。第2回は令和5年度6月に1回、令和6年度は3か月ごとに4回、そして令和7年度からは、月1回（第1木曜日）の開催と、徐々に回数を増やしています。

当初は地元の農家の方の野菜販売などを視野にいれて計画していましたが、野菜収穫の時期と販売のタイミングを合わせる事が難しいと断念し、出店してくださる団体や地元の方を募ると同時に、職員によるポップコーン販売も行っていました。

現在は、世田谷区内の福祉事業所で生産されたパンやお菓子、水耕栽培の葉物野菜や片栗粉などの食品類と、オリジナルデザインのTシャツや小物などを販売、そして、「みなとワークアクティ」の協力を得て、人気の焼菓子類も定番商品となりました。地元の方々の参加もあり、編み物作品や若手アーティストによる似顔絵コーナーなど、展示内容もバラエティーに富んだものとなりつつあります。

また、休憩スペースを設けコーヒールなどを提供しながら、職員によるライブを楽しんで頂くという企画も始まりました。7月からは、福祉事業所利用者の方による演奏も予定しています。

◆マルシェへの思い

もともと、法人の庭で「マルシェ」を開催するというアイデアは、砧デイサービスセンター職員から提案されたものでした。デイサービスの業務に携わるなかで、友愛十字会は歴史ある法人にもかかわらず地元の方々の認知度が意外に低いと感じ

じたそうです。そして、これを高める為には、気軽に入りやすい「市場」が適しているという発想に至りました。

現在、砧デイサービスセンターでは、キッチンカーの出店を利用者さん用のイベントとして企画しています。このキッチンカーの出店日をマルシェの開催日に合わせることで、楽しいコラボが実現し、マルシェに賑やかさを増しています。

また、マルシェに出店してくださっている団体の中には、更生館や友愛デイサービスセンターとつながりのある法人もあり、地域連携委員会と各施設が協力し合いながら、地域の方々との連携を深めているところもあります。

◆今後に向けて

そもそも、友愛十字会は、障害者および高齢者福祉施設を運営して地域に貢献しているという自負はありますが、一方で、法人全体が「地域住民」としての役割も担っていると考えています。

地域の方々が気軽に遊びにこられる場所を提供する。そして、

地域の方々の活動の場としてもらいたい、更には、交流を通じて地域の方々の困りごとの解決にもお役にたてる場を目指して運営したいと考えています。

◆現在ご協力いただいている団体（敬称略）

泉会「コイノニアかみきた」、せたがや檜の木会「わくわく祖師谷」、世田谷区立「砧工房」、AHCグループ株式会社「TODAY喜多見」、みなとワークアクティ

◆コラボしているキッチンカー
クレープ、たい焼き、たこ焼き、モスキッチンカー



善意のかずかず

次の方々から利用者及び施設に対しまして「奉仕等」を賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましたこと
に対して、心より御礼申し上げます。
(令和6年12月1日～令和7年6月30日)

奉仕活動

○世田谷更生館

秋山 一代
伊藤 幸子
福永 春美

○友愛園

渡邊 砂代里
慶応義塾大学ライイチウス会

○友愛デイサービス

山川 敏江

○砧ホーム

甲田 英子

○SONOKUBAND

○砧デイサービスセンター

笠井 梢 鎌倉 美恵子
鎌田 セツ 川口 栄子
栗山 明 古賀 明子
後藤 陽子 菅田 悦子
寿乃田 雅子 田村 正子
森崎 千鶴 横山 健一
吉田 隆
アイカネ

○世田谷区民合唱団

砧あんしんすこやかセンター

○友愛荘

西多 法子 山田 哲夫

○港区立障害保健福祉センター

菅野 晴美 花田 美優
船山 直子 宮下 芳恵
伊藤 恵一 岩崎 陽子
植野 知恵 岡田 藤子
木村 美結 小林 和子
須佐 義和 菅 育衣
竹之内 公恵 武田 敦子
細野 夏星 泥谷 隆史
宮田 眞 三嶋 航平

寄付金

○友愛園

かみつぐ助成金

○友愛デイ

持永 修

○友愛ホーム

株式会社世田谷サービス公社

○友愛ホーム

上井 正次
(一財)ニチレイ MIRAIterrace 財団

○砧ホーム

東京都福祉局

○東京聴覚障害者支援センター

糟谷 昭雄
堀江 承元

○友愛荘

五十嵐 知江

○港区立児童発達支援センター

和泉 樹央

寄付物品

○世田谷施設

川本 美智子

○本部

株式会社ガイア

○友愛園

学校法人神戸学園グループ

○東京聴覚障害者支援センター

国際ブリアー

○友愛荘

東京善意銀行

○港区立障害保健福祉センター

遠井 基樹

○港区立児童発達支援センター

山本 裕輔

(一社)東京馬主協会
東京都宅地建物取引業協会

職員異動

(令和6年12月1日)
令和7年6月30日

○就任

港区立児童発達支援センター

参与 小泉 達也

○昇任

友愛園 園長 早田 政治

港区立児童発達支援センター

総合相談事業所

施設長 牛山 華絵

○配置換

港区立児童発達支援センター

センター長 小関 英利

○併任

砧デイサービスセンター長

砧介護保険サービス

施設長 武井 安浩

港区立児童発達支援センター

障害児相談支援・計画相談支援事業所

施設長 小関 英利

○併任解除

港区立児童発達支援センター

総合相談事業所

施設長 石川 恵吏

○退任

砧介護保険サービス

施設長 小泉 貴宏

港区立障害保健福祉センター

センター長 江原 徳至

港区立児童発達支援センター

センター長 小泉 達也

表紙写真…砧ホーム主任 坪谷 聖一

編集後記

友愛十字会が75周年を迎えることとなり、創立1950年の出来事を調べてみました。

聖徳太子の千円札発行や小田急電鉄ロマンスカー運行の開始、第1回さつぼろ雪まつり開会や第1回ミス日本コンテストの開催などなど。75歳といえば後期高齢者となりますが、友愛十字会はまだまだ元気いっぱいです。ご利用者の皆様と共に、厳しい夏の暑さを乗り切りたいと思います。

《第六十二号は、令和八年一月一日発行予定です。》

ゆうあい編集委員会 副委員長
砧ホーム 施設長 武井 安浩

ゆうあい 第六十一号

令和七年七月三十一日

発行 社会福祉法人 友愛十字会
発行人 酒井 健治
所在地 東京都世田谷区
電話(〇三)三四一六―三二六四
http://www.yuai.or.jp